

令和2(2020)年度入学試験問題出題のねらい・解答例 (学校推薦型選抜)

中村学園大学〔栄養科学部 栄養科学科〕

【小論文】

(その1)

〈出題のねらい〉

世界的に問題になっているプラスチックゴミによる海洋汚染について、2015年の世界のプラスチック産業部門別の生産量(図1-1)と主要国別のプラスチック容器包装の廃棄量(図1-2)に関する資料を取り上げた。

設問1は、問いの文章に従い図を適切に読み取り、正しく計算できるかどうかを評価した。

設問2は、基本的な重量の単位を合わせて正確な計算ができるかどうか、あるいは1人あたりのプラスチック容器包装廃棄量(kg)がヨーロッパ(EU28加盟国)と日本でほとんど同じであることを考慮し、簡易的にプラスチック容器包装総廃棄量(万トン)の数値を用いて人口を求めることができるといった発想力によって計算ができたかを評価した。

設問3は、問いの文章に従い1人あたりのプラスチック容器包装の廃棄量について図中の数値のもつ意味を思考し、5つの選択肢の中から、より適切なものを選択できたかを評価した。

設問4は、文章の問題提起(プラスチック製品による海洋汚染より生じる問題)について5つのキーワード全てを用いて簡潔明瞭に記述することを求めた。誤字・脱字や文法上の誤りがなく、定められた字数で的確に記述できたかどうかを評価した。

〈模範解答例〉

設問1 36

設問2 ④

設問3 ③ ④

設問4 プラスチック製品は、溶けにくいいためマイクロプラスチックへと変化して海中に蓄積されてゆく。それを魚やクジラは餌と間違えて食べてしまう。しかし、プラスチックは消化されないために胃腸管に蓄積されてゆく。その結果、生物の健康被害が発生する。一方、食物連鎖により、より大動物へ補食され、生物濃縮されることで、人類を含む生態系へ害を及ぼすのではないかと危惧されている。(178字)

(その2)

〈出題のねらい〉

高齢者の低栄養傾向の者の割合(性・年齢階級別)と、高齢者人口および被保険者の要介護(要支援)認定者数(性・年齢階級別)に関する統計資料(図2-1、表2-1)を取り上げた。

設問1は、それぞれの選択肢の文言を正確に理解し、図中の該当する数値を的確に対応付け、正答を導くことができるか否かを判定した。

設問2は、65歳以上75歳未満の男女と75歳以上の男女について、それぞれ、高齢者人口に対する、要介護(1~5)の認定者数の割合を求める問題である。表を適切に読み取ったうえで、正しく計算し、それらの値を比較できるか否かを判定した。

設問3は、日本において大きな問題となっている要介護の要因について考察する問題である。まず、年齢および男女別に要介護認定者の実態を簡潔に説明し、次いで、指定されているキーワードを用いて要介護の要因を理路整然と考察できているかの評価を行った。

〈模範解答例〉

設問1 ④

設問2 65歳以上75歳未満の男性：3.2%

75歳以上の男性：17.1%

65歳以上75歳未満の女性：2.6%

75歳以上の女性：27.4%

- 設問 3 65歳以上75歳未満では、男女ともに要介護の割合が低値である一方、75歳以上になるとその割合は高くなる。特に、75歳以上の女性では、男性よりもそのリスクが高い。これらは、低栄養傾向の者でも同様の傾向がみられる。その要因としては、加齢に伴い、食事量、咀嚼力、消化吸収能、栄養状態の低下や、運動量、筋肉量及び筋力などの低下に加え、認知機能の低下が挙げられる。(179字)